

2040年、日本の医療はどう変わる？

医療崩壊を防ぐ鍵は、病気になる前の「0次予防」にあった——。



急速に進む少子高齢化と医療費の増大。

2040年を前に、私たちが進むべき

「健康国家戦略」とは何か？

本書では、従来の医療の枠組みを超えた

「0次予防」を軸に、これからの医療・ヘルスケアが
目指すべき未来予想図を徹底解説します。

書名：『0次予防から始まる健康国家戦略
～2040年における医療の未来予想図～』

定価：3,850円(税込)/メディカルレビュー社

0次予防
健康
国家戦略

2040年における医療の未来予想図

0次予防 | 設計医療の時代
戦略的予防は医療業界に
生き残れない

2100年、 医療の主演は 「予防」になる。

治療が主演の時代は終わる？
『医療4.0』の著者が描く、
さらにその先の未来。

治療が目的ではなくなる社会制度の姿と、
健康国家戦略をロジカルに読み解く。

メディカルレビュー社／著者：加藤 浩晃／定価：3,850円(本体3,500円＋税)／ISBN：978-4-7792-2969-5

0次予防 から始まる 健康 国家戦略

デジタルハリウッド大学大学院
特任教授
加藤 浩晃

2040年における医療の未来予想図

「0次予防」＝「設計医療」の時代
現状維持では医療業界は

生き残れない。

『医療4.0』の著者が説く「0次予防時代の医療の進むべき姿」

医療機関	製薬企業	医療機器産業	医療流通	医師	産業界
治療拠点から 健康設計拠点へ	先制医療という フロンティア	MOaaSという 新しいパラダイム	医療価値の 真実化企業へ	キャリアの 拡張と流動	健康が 経営戦略になる